

[江別市] 施策達成度報告書

政策 03 安心を感じる保健・医療・福祉の充実

施策 05 高齢者福祉の充実

主管課 介護保険課

施策の環境変化と課題

施策の環境変化 (24年度)	施策の課題 (24年度)
<p>江別市では、少子高齢化が顕在化し平成24年10月の高齢化率は、23.9%に達した。</p> <p>高齢者の生活面では、主な収入源である国民年金が減額されるなど、高齢者の家計に対して影響が出てきている。</p> <p>一方、高齢者に対する在宅福祉サービスについては、買物の宅配サービスや配食サービス、訪問リハビリ等のように多様化し利便性が向上している。</p> <p>介護保険サービスは、入所施設だけでなく、在宅でも高齢者が自立した生活ができるよう、在宅サービスを重視する制度改正があった。</p> <p>高齢者が地域で安心して暮らすためには、住まいが重要であり、老朽化、除雪の問題などから高齢者世帯の住みかえが多くなりつつある。</p>	<p>高齢者が、自立した生活を営むためには、様々なサービスを利用し、要介護状態になることをできるだけ先延ばしすること、介護を受けている方は、要介護状態が悪化しないことが重要である。</p> <p>また、必要な方へ、必要な福祉サービスが届けられるように、関係機関等を通して広報等を実施することと、ケアプランの適正化を図り効率的にサービスを提供するとともに地域密着型グループホーム等の施設整備を図る必要がある。</p> <p>介護保険サービスについては、様々なサービスを利用して、在宅介護の質が高められるように制度の普及促進を図りたい。</p> <p>高齢者の住まいに関しては、地域包括ケアの根幹を成すことから、雪対策とともに住み替え対策を庁内で検討したい。</p> <p>孤立死を避けるため、ライフライン事業者や自治会・民生委員等関係機関、住民等を含めた地域包括ケア体制作りに取り組む必要がある。また、高齢者の生きがい作りのために、高齢者の社会参加、交流活動を活発化する取組みを促進したい。</p>

施策の目的

高齢者が自立し、地域交流や社会参加をすることで、生きがいを持って生活できるまちを目指します。また、必要な介護サービスが受けられることで家族の負担を軽減します。

対象 (誰を対象とした指標か)

高齢者

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

- ・高齢者が自立し生きがいを持って生活ができる。
- ・必要な介護サービスが受けられ家族の負担が軽減される。

施策の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

施策の成果をあらわす指標	単位	初期値	22年度	23年度	24年度	後期目標値
生きがいを感じている高齢者の割合	%	74.1	-	79.1	80.6	↗
介護サービスが充実していると思う市民割合	%	90.8	-	84.4	78.3	↗

施策の達成状況 (24年度)

高齢者が生きがいを感じている割合は、増加しているが、介護サービスが充実していると思う割合は、減少している。これは、介護サービスの満足度だけで生きがいを感じるのではなく、高齢者の社会参加や高齢者を取り巻く社会的環境等も関連して判断されているものと思われる。介護サービスが充実している割合が減少しているのは、高齢者が増加したことにより特養等の入所施設の不足が要因の一つであると考えており、地域密着型の施設整備を進める計画である。また、高齢者が、地域で健康を維持して、安全で安心した暮らしを送ることができるように、介護予防・在宅サービスの充実を図りたい。

施策事業コスト	23年度決算額	24年度決算額	25年度当初予算
トータルコスト(千円)	451,772	369,742	732,580
事業費(千円)	442,941	360,127	722,910
人件費(千円)	8,831	9,615	9,670

01 地域交流と社会参加の促進

基本事業の目的

住民同士や地域内の交流、高齢者クラブ等への参加、ボランティア活動等を通じて、元気な高齢者を増加させます。

対象 (誰を対象とした指標か)

高齢者

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

・元気で、生き生き生活できる(生きがいがある、健康である)。
・住民同士や地域内で交流することができる。
事業等への参加 事業運営などの活動参加 ボランティア活動参加

基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	22年度	23年度	24年度	後期目標値
高齢者クラブ加入者及び老人大学受講者数	人	4,693	4,796	4,681	4,626	5,200
誰かと交流している高齢者の割合	%	46.6	-	44.2	47.1	↗

基本事業の達成状況 (24年度)

高齢者クラブ加入者及び老人大学受講者数は、減少傾向にあるが、誰かと交流している割合は、平成21年度に僅かながら増加したものの、また減少している。これは、ライフスタイル等が多様化するなど変化してきていることを示していると思われる。指標にはないが、社会福祉協議会が自治会を支援して実施している愛のふれあい事業、ボランティア活動等の事業を通して社会参加の促進を図りたい。

基本事業コスト	23年度決算額	24年度決算額	25年度当初予算
トータルコスト(千円)	30,133	29,052	29,364
事業費(千円)	27,886	26,166	26,463
人件費(千円)	2,247	2,886	2,901

02 介護予防と自立生活の支援

基本事業の目的

高齢者等の健康の保持・増進のための介護予防・自立生活支援サービスを充実させ、健康で自立した生活ができるようにします。

対象 (誰を対象とした指標か)

高齢者

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

高齢者等の健康の保持・増進に関し、安定したサービスが受けられる。介護予防・自立生活支援の充実により生涯を通じて健康で自立した生活が維持できる。

基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	22年度	23年度	24年度	後期目標値
介護予防事業を利用している高齢者の割合	%	22.6	26.8	18.0	16.4	23.0
健康と思う高齢者の割合	%	69.4	-	69.7	72.5	↗

基本事業の達成状況 (24年度)

実質の介護予防教室参加者数(事業利用者実人数)を増やすため新規参加者の獲得を重要視しPR活動を進めているが、個人及び団体の新規参加者の開拓が難しくなっており、その結果事業利用者の延人数が伸び悩む結果となっている。また、高齢者を対象とした事業であるが、新たに65歳を迎える市民の数が急増しており、割合としての実績を上げることが難しくなっている。

基本事業コスト	23年度決算額	24年度決算額	25年度当初予算
トータルコスト(千円)	117,828	122,790	136,245
事業費(千円)	115,099	119,824	133,264
人件費(千円)	2,729	2,966	2,981

03 在宅福祉サービスの充実

基本事業の目的

適切なサービスを提供することで高齢者の自立を支援し、住み慣れた地域で少しでも長く在宅生活が継続できるとともに、家族の負担を軽減することができます。

対象 (誰を対象とした指標か)

在宅の要介護者及び家族

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

- ・介護状態に応じた適切なサービスの提供により高齢者が在宅で不便の無い生活を送ることができる。また家族による介護ができるようになる。
- ・住みなれた地域で安心して生活が出来る。

基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	22年度	23年度	24年度	後期目標値
介護サービス利用者のうち、居宅介護サービス利用割合	%	76.6	79.7	80.3	80.1	79.8
介護サービスの満足度 (在宅福祉利用分)	%	84.0	86.8			↗

基本事業の達成状況 (24年度)

高齢者の増加とともに居宅介護事業所も増加しており、在宅でデイサービスや訪問介護等を利用する割合はほぼ横ばいである。また、デイサービス、ショートステイ、訪問リハビリサービス等の事業所が増えていることで、サービス等の選択の幅が広がったことも、満足度の向上に繋がっていると思われ、引き続き、これらサービスの質的向上のため事業所への運営指導に努めたい。

基本事業コスト	23年度決算額	24年度決算額	25年度当初予算
トータルコスト(千円)	4,257	8,260	3,926
事業費(千円)	3,535	7,538	3,442
人件費(千円)	722	722	484

04 施設サービス機能の充実

基本事業の目的

在宅生活が困難な要介護者を施設に入所できるようにし、必要なサービスを受けることにより安心した生活を送ることができます。

対象 (誰を対象とした指標か)

施設入所要介護者等

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

- ・在宅生活が困難な要介護者等が、施設等において必要なサービスを受けて、安心した生活を送ることが出来る。

基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	22年度	23年度	24年度	後期目標値
要介護度4以上の施設入所待機者数	人	238	269	253	232	200
介護サービスの満足度 (施設サービス利用分)	%	85.6	87.3			↗

基本事業の達成状況 (24年度)

高齢者人口の増加や施設の長期入所者が多いことなどから、待機者については施設新設による若干の減少はみられたものの横ばいの傾向は続いている。高齢者総合計画に基づき、地域密着型の施設を整備することにより、在宅で介護が困難な方の入所を促進したい。今回満足度のアンケートは実施していないが、満足度のさらなる向上のために引き続き施設の運営指導に努めたい。

基本事業コスト	23年度決算額	24年度決算額	25年度当初予算
トータルコスト(千円)	244,552	202,082	560,375
事業費(千円)	242,545	200,318	557,555
人件費(千円)	2,007	1,764	2,820